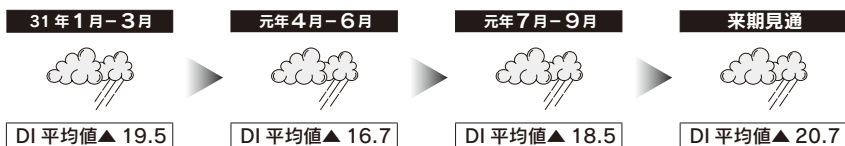


県内中小企業(製造業)景況動向

令和元年7月～9月期

足踏みの状態が続き、来期も総じて悪化の見通し

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲16.4	▲14.0	▲19.1	▲20.3

同期比の売上高DIは▲21.4、収益性DIは▲16.7で、両方を合わせたDI平均値は▲19.1となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは1.2ポイント下降して▲20.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲40.5、収益性DIは▲32.4となった。

また、雇用人員判断DIは18.9、設備操業率DIは▲11.1、設備投資実施率は35.0%となった。

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲25.9	▲13.3	▲48.2	▲25.1

同期比の売上高DIは▲40.8、収益性DIは▲55.6で、両方を合わせたDI平均値は▲48.2となり「雨」模様に転じている。来期見通しは23.1ポイントの大幅上昇で▲25.1となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲57.7、収益性DIは▲47.1となった。

また、雇用人員判断DIは11.7、設備操業率DIは▲35.3、設備投資実施率は11.5%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(同期比)については▲18.5となり、前回調査(元年4-6月期)の▲16.7から1.8ポイント下降している。来期見通しにおいては▲20.3ポイント下降して▲20.7となっている。

売上高DI(同期比)については▲18.3となり、前回調査から7.0ポイント下降している。来期見通しにおいては▲2.9ポイント下降して▲21.2となっている。

収益性DI(同期比)については▲18.6となり、前回調査から3.4ポイント上昇している。来期見通し

においては1.5ポイント下降して▲20.1となっている。

業況DI(同期比)については▲16.9となり、前回調査から2.6ポイント上昇している。来期見通しにおいては7.3ポイント下降して▲24.2となっている。

原材料価格DI(前期比)については35.7となり、前回調査から3.2ポイント下降している。

販売価格DI(前期比)については5.2となり、前回調査から1.3ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については▲15.1となり、前回調査から3.3ポイント下降している。

金融機関の態度DI(前期比)に





ついては1.2となり、前回調査から変化はみられない。

設備投資実施率については32.4%となり、前回調査から5.5ポイント上昇している。業種別で高い実施率となったのは「金属・同製品」、「機械・機器」で、目的別では品質向上「増産」となっている。また、来期の設備投資計画率については35.8%となった。





設備操業率DI(前期比)については▲15.0となり、前回調査から2.4ポイント下降している。

なお、回収率については、調査対象500社のうち254社からの回答があり50.8%となった。また、回答企業の平均従業員数は57.3人であった。





紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲41.7	▲13.4	▲34.7	▲46.2
<p>同期比の売上高D Iは▲23.1、収益性D Iは▲46.2、両方を合わせたD I平均値は▲34.7となり「雨」模様になっている。来期見通しは11.5ポイント下降して▲46.2となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iと収益性D Iは▲30.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは23.1、設備操業率D Iは▲23.1、設備投資実施率は15.4%となった。</p>			





木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲5.0	▲45.5	▲8.3	▲40.1
<p>同期比の売上高D Iは「増加」・「減少」とともに30.8で0.0、収益性D Iは▲16.6で、両方を合わせたD I平均値は▲8.3となり「小雨」模様になっている。来期見通しは31.8ポイントの大幅下降で▲40.1となり「雨」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは15.4、収益性D Iは「好転」・「悪化」とともに25.0で0.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは41.7、設備操業率D Iは「上昇」・「下降」とともに8.3で0.0、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲6.3	▲34.7	▲15.3	▲24.3
<p>同期比の売上高D Iは▲19.4、収益性D Iは▲11.1で、両方を合わせたD I平均値は▲15.3となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは9.0ポイント下降して▲24.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲14.3、収益性D Iは▲28.6となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは22.2、設備操業率D Iは▲21.5、設備投資実施率は50.0%となった。</p>			





窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲28.4	▲25.0	▲6.9	▲6.9
<p>同期比の売上高D Iは▲9.1、収益性D Iは▲4.6で、両方を合わせたD I平均値は▲6.9となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは今回調査と同じく▲6.9となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲4.5、収益性D Iは▲12.9となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは29.0、設備操業率D Iは▲7.7、設備投資実施率は20.5%となった。</p>			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲23.1	▲13.7	▲6.7	0.1
<p>同期比の売上高D Iは▲6.6、収益性D Iは▲6.7で、両方を合わせたD I平均値は▲6.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは6.8ポイント上昇して0.1となり「曇」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは13.3、収益性D Iは▲14.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは14.3、設備操業率D Iは「上昇」・「下降」とともに14.3で0.0、設備投資実施率は20.0%となった。</p>			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲19.1	▲1.9	▲16.0	▲22.6
<p>同期比の売上高D Iは▲17.7、収益性D Iは▲14.3で、両方を合わせたD I平均値は▲16.0となり「小雨」模様になっている。来期見通しは6.6ポイント下降して▲22.6となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲4.7、収益性D Iは▲11.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは19.7、設備操業率D Iは▲18.2、設備投資実施率は50.0%となった。</p>			